

○2007年日本菌学会「アマチュアの連絡会」に参加

2007年5月26日～27日に筑波大学で開催された日本菌学会51回大会で、千葉菌類談話会は「アマチュアの連絡会」に参加し、ポスターを掲示しました。以前の会報（22号54頁）でもお知らせしましたが、アマチュアの会という集まりは、2001年に東京で日本菌学会が開催されたおり、菌類懇話会の後藤康彦さんが中心となりはじまった集まりです。自称アマチュアと称するきのこ・カビ愛好家は、一人で学会参加しても心寂しさを味わうだけです。そこで、徒党をくむことにより、学会会場内にスペースを確保し、所属団体のポスターを掲示し、自分でつくった会報と称するコピー冊子を販売しながら、情報交換することをはじめました。2002年長野、2003年札幌、2004年長崎、2005年ハワイ、2006年千葉でした。2007年は、学会開催中の2日間、参加したアマチュア団体の約10団体は、筑波大学の会場内で、その活動を紹介するポスターを掲示し、筑波バスセンター付近の居酒屋で懇親会をもちました。



アマチュアの会の紹介ポスター



学会のポスター発表はこんな感じ

○2008年の日本菌学会「アマチュアの連絡会」は、5月31日～6月1日、三重大学での開催となります。開催地のキノコ団体である「みえ菌輪の会」「きのこウオッチングクラブ・M I E」がそのホスト役の予定です。参加費・交通費・宿泊代など、半端ではない費用が必要ですが、もし興味のある方がおられたら、是非ご参加ください。今年も、千葉菌はポスター持参で参加予定です。詳しい情報は「日本菌学会」のホームページ、あるいは事務局まで。

○2008年10月11日（土曜）～13日（月曜、祝日）、前述アマチュアの会と似たような組織が、日本菌学会と合同で、鳥取県大山で観察会を開催します。全国のきのこ好きが集い、参加者150名を予定する大規模なものです。興味深いあつまりになることでしょう。是非ご参加ください。詳しい情報は「日本菌学会」のホームページ、あるいは事務局まで。

○お気づきになった方もいるかと思いますが、本誌には前号から、表紙の右肩に ISSN 1881-9230 の文字が印刷されています。これは「千葉菌類談話会通信」が ISSN (International Standard Serial Number : 国際標準逐次刊行物番号) を取得したことを意味します。ISSN はパリの国際センターをデータバンクとして連携するネットワークで逐次刊行物を識別するための番号です。日本では国会図書館が ISSN 日本センターとして ISSN の登録・管理を行っています。